

岐阜都市計画下水道の変更

(瑞穂市決定)

計 画 書

平成26年度

岐 阜 県 瑞 穂 市



岐阜都市計画下水道の変更（瑞穂市決定）

都市計画牛牧都市下水路、別府都市下水路、只越都市下水路、穂積都市下水路を廃止し、都市計画瑞穂市公共下水道を次のように決定する。

1. 下水道の名称 瑞穂市公共下水道

2. 排水区域

「排水区域は総括図表示のとおり」 (備考) 面積 汚水 約 1,151ha
雨水 約 1,151ha

3. 下水管渠

内 訳	位 置		備 考
	起 点	終 点	
瑞穂第1汚水幹線	瑞穂市牛牧字起証田	瑞穂市牛牧字野畑	
放流管渠	瑞穂市牛牧字起証田	瑞穂市牛牧字起証田	

「区域は計画図表示のとおり」

4. その他の施設

内 訳	位 置	備 考
アクアパークみずほ	瑞穂市牛牧字起証田	42,000m ²
別府ポンプ場	瑞穂市穂積字向野	3,400m ²

「区域は計画図表示のとおり」

【理由】

本市では、まちづくりの全体像を見据えて、特定環境保全公共下水道等の各種汚水処理施設の整備を計画的に実施してきました。

しかしながら、本市の汚水処理人口普及率は53.0%と他の市町村と比べ汚水処理施設の普及が遅れている状況であり、健全な水環境を取り戻すために、市街化区域について公共下水道事業を推進するため、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目指すものです。



【都市計画決定理由書】

本市には、揖斐川や長良川をはじめとした 18 本もの一級河川が流れており、かつて輪中と呼ばれた水郷地帯であったことから、古くより恵まれた水を活かした農耕地帯として発展を遂げてきました。現在は、岐阜市と大垣市の間に位置した立地条件の良さ、国道 21 号が市の中心部を通っていることや J R 東海道本線の穂積駅があることから交通至便の地として都市化が進み、行政人口も継続的に増加しています。都市化や人口増加に伴い、市内の河川や水路は、家庭などからの生活雑排水の増加から、水質悪化が進んでいる状況にあります。

このため本市では、まちづくりの全体像を見据えて、平成 6 年度に農業集落排水処理施設、平成 9 年度に特定環境保全公共下水道、平成 10 年度に合併処理浄化槽設置整備、平成 13 年度にはコミュニティ・プラント事業に着手し、各種汚水処理施設の整備を計画的に実施してきました。

また、国は、各種汚水処理施設整備をより合理的かつ効率的に実施してくために、「持続的な汚水処理システム構築に向けた都道府県構想策定マニュアル」を平成 26 年 1 月に公表し、汚水処理施設整備の早期概成を目指すように促しています。

しかしながら、本市の汚水処理人口普及率は 53.0%と他市町村と比べ汚水処理施設の普及が遅れている状況であり、健全な水環境を取り戻すためにも、早期の対策が必要となっています。

したがって、市街化区域について公共下水道事業を推進するため、公共下水道の排水区域、下水管渠や下水処理場などについて都市計画に位置付け、都市の健全な発達及び公衆衛生の向上に寄与し、あわせて公共用水域の保全に資することを目指すものです。

また雨水排水については、既に都市下水路が都市計画決定されていますが、今回の公共下水道の雨水排水区域に含まれるため、あわせて公共下水道の雨水排水区域に変更します。

なお、今回公共下水道として位置付ける区域は、「岐阜都市計画区域の整備、開発及び保全の方針」および「木曾川及び長良川流域別下水道整備総合計画」において、単独公共下水道として整備することが位置付けられており、上位計画との整合も図られています。

